

SPAC 特別公演 袋井市民演劇鑑賞事業

かのも 高き彼物

昨年の「Walk on」(西村雅彦主演)に引き続き、今年もメロープラザに本格的演劇がやってまいりました。

SPAC(静岡県舞台芸術センター)の登場です!!
市民の皆さんが上質な舞台芸術に親しんで頂けるよう、**無料**でご案内致します。

鑑賞希望される方は、下記にご連絡されるか、メロープラザ窓口にて鑑賞券を取得願います。



2016 年 11 月 24 日 (木)
12 時開場 12 時 30 分開演

演出 **古舘寛治**
作 **マキノノゾミ**

舞台芸術
デザイン **宮沢章夫**

メロープラザ
TEL : 0538(30)4555
FAX : 0538(23)8000

受付時間9:00~17:00 (水曜休館)

Mail:mellow-plaza@city.fukuroi.shizuoka.jp

青年団でもっとも暑苦しい男、古舘寛治がSPACで演出をするという。
暑苦しさを粘り強さにかえて、丁寧な舞台づくりを期待したい。
ガンバレ、フルタチ。
平田オリザ(劇作家・演出家・青年団主宰)

《あらすじ》

1978 年夏、SL の汽笛が聞こえる静岡県川根町の雑貨屋。友人をバイク事故でなくして失意に沈む高校生・藤井秀一に対し、元高校教師の猪原正義は、時に熱く、時におおらかに、その心の傷を癒やそうとする。しかし、より良く生きたいと願う正義にも、人には言えない秘密があった……。

笑い・涙・驚きの全てが詰まったマキノノゾミ珠玉の名作を、リアルな演劇とは何かを問い続けてきた俳優・古舘寛治が演出。他者、そして自身の多面性を受容していく普遍のドラマ。タイトル「高き彼物」の出所は、吉野秀雄氏の短歌「屑煙草集め喫へれど志す高き彼物忘れしや」、屑煙草を拾って吸うという、貧しさの中でも大きな夢や志を忘れてはならないというような意味と思われる。

古舘寛治 (ふるたち かんじ)



劇団青年団、劇団サンプル所属。ニューヨークのHBスタジオで演技を学び、帰国後は舞台を中心に活躍を続ける。近年は映像作品への出演も多く、静岡ではテレビCMで目にしない

日はない。第69回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門にて審査員賞を受賞した『淵に立つ』(2016年、深田晃司監督)が、10月より全国公開される。

SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

芸術総監督 **宮城聡**

スパック = 静岡県舞台芸術センター